

公益社団法人埼玉県理学療法士会  
令和6年度第6回理事会議事録

1. 開催日時：令和7年2月18日（火）19：00～20：30

2. 会 場：埼玉県理学療法士会 インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 20名 定足数 11名

4. 出席理事数 20名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、原田慎一、渡邊雅恵、横山浩康  
渡邊賢治、兵頭甲子太郎、赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、高野大智  
米澤隆介、平野輝利人、菊地裕美、木村佳晶、杉本諭、馬崎昇司

欠席理事：

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：清宮清美、矢野秀典

欠席監事：

6. 出席部長・エリア長・委員長

本宮光信、塚田陽一

7. 出席部員

早船美香（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

令和7年度予算案について

<計画外審議>

なし

<報告事項>

【事務局】LINE WORKS 審議について

【事務局】事務室長業務について

【財務局】財務状況について

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭、本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し、問題なく進行できることを確認した。また、議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

## (2) 議案の審議状況及び議決結果等

### <計画内審議事項>

#### ○令和7年度予算案について

議長の求めに応じ、資料に基づき本宮財政基盤検討委員長から「2025年度（公社）埼玉県理学療法士会予算案」について沿って説明があった。

#### 「収入の部」

会員数を5,700名（昨年比+70名）とし、会費収入は5,681万円とした。事業収入は、427万円（昨年比-19万円）。これは学会による収入減の影響である。雑収入は54万円（昨年比-40万円）、臨床実習指導者講習会費が減った影響である。合計は、今年度が6170万円に対し、来年度は6185万円で、約11万円増収の見込みである。

#### 「支出の部」

予算案を再提出してもらい、来年度6489万円の見込みとなり、-250万円減額ができた。当初は-300万円の目標が会長より提示されており、そこには届かなかったが、皆さまのご協力により近い数字を達成できた。昨年度より-1405万円減額できた。今年度の収入と支出の差額が、-304万円の赤字となったが、再提出前は、-504万円の赤字だったので、この結果をどう考えていくかが大事である。

今年度より予算が増えた部門について言及したが、新規事業や統廃合している事業もあるので、単純には言い切れない部分もあるのでご承知いただきたい。

#### 1. 事業費

合計3965万円。今年度の5233万円に比べ-1268万円で-25%を達成している。

予算案を減額して再提出いただいた部門があるが、高齢福祉に関する部門と訪問リハビリテーション振興事業は再提出がなかったと把握しているので、確認をお願いしたい。

彩の国リハビリテーションフェスタは人件費、会場費、印刷費などの問題で、増額になっているがやむを得ないと思われる。

小児に関する研修会開催費は、再提出で-13万円の減額をしていただいたが、今年度より+5万円の増額となっている。

今回、ブロック毎の再提出が少なかった。東部と南部は再提出なかったので、予算減額できるようにであれば、再提出をお願いしたい。

理学療法関連の情報提供に関する事業費は、-250万円で予算-25%を達成できた。

ブロック活動費は予算増額になっている。

理学療法士教育に関する事業費は2125万円で、今年度-25%となっている。

生涯学習プログラム費は約450万円と予算金額が大きいので、減額を再度検討していただきたい。

理学療法に関する業務推進事業費は、－98 万円となっている。

## 2. 管理費

今年度は、出納部の運営システムの 5 年毎の更新年度で更新費 82 万円かかったが、来年度はこの支出がない分、予算が減っている。

通信費は、減額できる部分が少ない。

交流会費はブロックによる費用差が大きい。

以上、説明があった。

予算案に関連して、次の説明があった。

横山：追加資料「正味財産増減計算書」に沿って説明。

R6 年 12 月末までの財務状況ですが、予算 6174 万円に対して、支出 5996 万円となっている。1 月に県学会があったので、40 万円入金があった。

事業費は 5519 万円の予算に対して、支出 2275 万円となっている。予算執行率が約 42%なので、この後さらに支出がある見込み。

管理費は予算 2255 万円に対し、支出 1573 万円となっている。

諸経費合計が支出 3849 万円、利益が 2147 万円となっているが、あと 700 万円程度の支出見込み。

学会委託費が 700 万円の支出の見込み、残金 710 万円となる。予算執行率を踏まえると、支出がもっと増えると思われる。3 月までに事業執行費が 1200 万円を超えると、資金が苦しくなる。

拡大理事会でも話したが、予算がなくなる恐れがあるので、早めの報告をお願いしたい。

南本：

1～3 月までの事業費が 700 万円を超えると赤字になる可能性がある。

新年度の事業費が無くなると、事業が執行できなくなるので、早めに決算して報告と残金の戻しをお願いしたい。

本来、公益法人としては 0 円予算を組むことが望ましいのだが、一昨年より前から残金が多く、県からも資金を使うように指導を受けていたので、昨年度までは予算を多くとってもらったが、事業拡大をしてしまったこと、昨今の物価高による支出の増と、会員数の減少による収入の減があるので、来年度は予算を減らして組むようにお願いしたい。今年度 25%減という目標でしたが、皆様のご協力のおかげで何とか達成できそうである。来年度の事業執行に余裕がないので、来年度作成の予算案はここからさらに 300 万円減額できればと思っている。

原田：

事業局は健康増進部と小児福祉部に一部修正あり。

広報局の予算が多いので、発行回数を減らして、一回当たりのページ数を増やしてみてもどうか。

通信費で会員への発送費も金額が大きいの、定期便ではなく、まとめて送れるものはまとめるなど発送費の減額をしてはどうか  
Zoom 運営費もアカウント数を見直して、減らしてはどうか。

南本：

広報誌の件は事業計画をとったあとなので、見直す場合は事業執行の中で新たに審議を出してもらうほうが好ましい。

三宮：

事業費の減額については再度検討する。

水田：

LINE WORKS や Zoom のアカウントで不要のものが多いのであれば、数を減らして無料の仕様に変更する、または、Teams など別の媒体の仕様を検討するのはどうか。不要アカウントがあれば、申告をお願いしたい。(岡持は不要とのこと)

岡持：

部局によって、予算削減の額に幅がある。削減が小さいところは個別に相談を持ち掛けても良いのではないかと。削減したが、事業実施に無理がある場合は、補正予算で補助することも把握しておいてほしい。

赤坂：

事業予算を減らすことで事業内容が粗末になり、会員離れにつながるという負のスパイラルにならないようにしたい。

渡邊：

減額した内容が、回数を減らすよりも人件費を減らしたものが多かった印象を受けている。  
部員からも指摘があったが、運営の人数を減らすことで一人当たりの業務負担が増えて、疲弊する可能性がある。会議を減らすことで、当日の対面での負担が増えることが予想される。  
具体的にどの領域事業を減らす縮小する、あるいは領域によっては維持を許容すべきなのか、単に金額を減らすことに集中しすぎないようにバランスをとる必要があると思う。

阿久澤：

部長や担当理事としては、事業を削る判断が難しいだろう。一度決めたことを取りやめるので、誰かが嫌われ役にならないといけない。3 役などで話し合いをしてもらうのはどうか。  
組織検討を本格的に考える時期ではないか。埼玉県理学療法士会で何をしていくのか、中期・長期的に明確にできると良いと思う。

岡持：

部局によって同一や類似の事業をやっているのではないかと、より効率的な実施方法があるのではないかと指摘があった。

他の部局と調整すること、事業の総数を減らしたりまとめたりすることで予算の削減を図ってはどうかと考える。

南本：

組織の編成を検討していくべき時期だと思う。本来は予算の検討をするまえに行うべきことではあるが。今回の予算については、各所で事業の見直しを図ってくれたのが予算に表れている。

ご協力に感謝している。

岡持：

再提出し予算減がなかった部局については、個別に相談をかけて、再度見直しを。

田口：

10 万円未満の予算のところはなかなか削減が難しいと思う。10 万円 20 万円以上のところは、削減の余地があると思うので、見直しの要望をかけてはどうかと。

櫻場：

東部ブロックは最初の予算案の時点で約－40%減額している。そのため、これ以上の予算減はかなり厳しい。

馬崎：

訪問リハビリテーションの予算に関してだが、昨日、3 学会合同の研修会の実施と講師費用について相談し見直しをかけたので、減額したものを再度提出する予定。

訪問リハや災害リハの予算に関わったが、実際、人件費を下げるしか方法がなかったもので、今後の事業やブロックの在り方について見直しが必要と思う。

南本：

本宮さんから見た中で、予算削減できそうな部門には個別に相談をかけてもらい、再度見直しをお願いしたい。2 月中に LINE WORKS で再度審議をいただきたい。

<計画外審議>

なし

<報告事項>

1. LINE WORKS について

先の財務状況の報告の中でまとめて報告済。

## 2. 事務局より渡辺事務室長の業務内容について（水田より）

事務室業務全般の確認・統括

郵便物等の発送業務

会員情報管理（登録変更）

各部局会計報告チェック

事務室業務上必要なことに関して各部局へお願い

田中まさし後援会業務

表彰関係

を週2回4時間で行っている

<その他>

田口：

先日の代表者会議でも話したが、協会の教育プログラムが新しくなってから、登録理学療法士の更新申請に必要なポイントの取得期限が2026年12月末になっている。

各所よりポイントの取得をするように促しをお願いしたい。

水田：

2025年6月に大宮ソニックシティで総会がある。対面での開催になる。

田口：

総会で、新人会員に協会や士会がどんなことに取り組んでいるか知ってもらえるように、総会前に対面の研修会を予定している。各ネットワークで入会と参加の呼びかけをお願いしたい。

南本：

LINE WORKS では既に依頼をしているが、審議の入力が遅い傾向にある。極力早めの審議入力をお願いしたい。7月の選挙に向けて、埼玉県一丸となって田中まさし後援会へのご協力をお願いしたい。

田口：

先日、協会の斎藤会長と会談した。選挙投票前の応援名簿の数が極めて重要であり、党に示す必要がある。各ネットワークを利用し、応援名簿の人数集めをお願いしたい。是非ご協力をお願いしたい。PTOTST合わせて目標50万人。

阿久澤：

応援者集めは、士会支部は班長10名応援者5名、ブロックは地区長10名班長10名応援者、という流れで動いている。ブロック支部からの依頼には、できるだけリハ職をたくさん出せるように、柔軟に競合しないように動いていただけるようお願いしたい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、20 時 30 分、議長は閉会を宣し、解散した。  
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長\_\_\_\_\_印

監事\_\_\_\_\_印

監事\_\_\_\_\_印